

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 8 月 10 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転してきており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、レンジ相場の地合いにあり、センターラインと-2σラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、今後、日足終値が-1σラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が顕著になる場合、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、要注意。一方、日足スパンモデルの遅行スパン(パラメーター26)は、陽転継続中であり、かつ、ローソク足に接触していることから、一旦は押しの安値を付けやすいタイミングを示唆している点、念のため注意したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=下落バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、+2 σ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。終値が+1 σ ラインの下方で引けており、ドル反落しやすくなっている。目先、センターラインを目指す格好の反落局面に入った可能性が高いと読む。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続しており、終値が+2 σ ラインと+1 σ ラインの間に位置していることから、依然として、逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点に注目したい。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が-1 σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。直近の下値ポイントであった1.1500近辺をブレイクし、年初来安値を更新しており、下落圧力が強まっている。終値が-2 σ ラインを下回り続けるかぎり、「走る相場」となる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝緩やかな下落トレンド

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値を、終値ベースでブレイクしており、逆行パターンの買いサインから順行パターンの売りサイン点灯に変化している。一方、赤色スパンが下向きに変化しており、こちらは、逆行パターンの買いサイン点灯となっている点に注目したい。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。バンド幅の拡大傾向が顕著になっており、売り圧力が強まっていることが分かる。

◆スパンモデル

依然として、買いシグナルの逆行パターンの売りサイン、さらには、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。そして、10日終値時点で、売りシグナルが点灯しているが、終値の位置から、順行パターンの売りサイン点灯となっている点を注視したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝下落バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン＝陰転してきており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと-3σラインの間でのレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

依然として、売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点に注目したい。一方、遅行スパンが、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過してきており、遅行スパンの下落、すなわち、ユーロ売り圧力が強まっている。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド

○遅行スパン＝陰転しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が-1σラインの下方で引け続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンドと判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝依然として、バンド幅の収束傾向が続き、レンジ相場の地合いを強めていると読み、目先、センターラインと -3σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断する。尚、今後、終値が -1σ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が顕著となる場合、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、要注意。

◆スパンモデル

引き続き、赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点、そして、すでに、逆行パターンの買いサイン点灯時の最終ターゲットの $+2\sigma$ ラインに到達した後に、反落している点に注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯する中、終値が -2σ ラインを下回って推移していることから、売りシグナルの順行パターンの売りサインが点灯している点に注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド

○遅行スパン＝陰転しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯しており、終値が -2σ ラインを下回っていることから、順行パターンの売りサイン点灯している点、注目。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。